

令和7年1月
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和7年1月30日(木) 午後2時00分
閉 会 : 令和7年1月30日(木) 午後3時12分
会 議 場 : 歴史文化伝承館2階会議室

出席委員 : 1番委員 大島 隆芳
2番委員 浅海 純一
3番委員 萩原 重範
4番委員 土橋 慶子

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 笠原 義浩
事務局次長兼学校指導監 飯野 芳伸
事務局次長兼保健給食課長 杉田 直之
教育総務課長 杉田 泰三
学校教育課長 磯田 欣央
文化財保護課長 伊藤 暁
教育研究所長 佐々島忠重

書 記 : 教育総務課主幹 中里 芳隆

1 開会宣言

教 育 長 : 令和7年1月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、1番委員及び4番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議において、議案第1号が付議される予定である。人事に関する議案であるため、非公開とするべき審議と考える。議案第1号の審議を非公開としたいが、いかがか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、本会議の一部を非公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和6年12月25日に開会された12月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 各学校は2週間の冬季休業日が無事に終わり、1月8日に第3学期の始業式が行われた。第3学期は3月26日までの短期間であるが、学校では本年度のまとめ、次年度の計画、中・高の入試や卒業式など重要な学期でもある。各学校の取り組みを指導してまいりたい。12月末から1月中旬にかけて秩父地域全体にインフルエンザ様疾患の流行により、数校で学級・学年閉鎖の措置をとったが、秩父市内では、1月下旬になり、減少傾向にあるが、まだ閉鎖せざるを得ない学級や学年もある状況である。幸い、感染した児童生徒は重症化には至っていないようである。

1月12日(日)には、生涯学習課主管による「令和7年秩父市二十歳のつどい」が行われ、今年度は562名の対象者のうち449名が参加し、参加率は79.9%であった。大勢の中学校卒業当時の校長、担任の先生方にもご臨席をいただき、厳粛な式となった。

また、埼玉県主催で、1月25日(土)にはウニクス北側駐車場で、第75回全国植樹祭100日前イベントが行われ、当日は「秩父はんじょう博」が開催されていて、大勢の方の参観とともに、ケヤキの記念植樹

も行われた。5月25日開催に向けてカウントダウンしているが、本日1月30日は開催115日前となる。今後、木製地球儀が県内の市町村を巡回展示しているが、秩父市は2月14日から19日まで本庁舎玄関ホールで展示される。また、5月25日には、秩父市の12の小・中学校の緑の少年団から67名の団員が植樹祭の現地で様々な係に分担され携わる。今後、植樹祭の成功に向けて事前研修会を行いながら当日を迎える予定である。

- 1 番 委 員 : 秩父夜祭が無事終わり、私の所属する消防団2部隊(本町・番場・上野町・熊木)の部長以上が集まる新年会があった。隣が、番場の岩田産婦人科の岩田先生で話をした。少し前は秩父の産婦人科も里帰り出産を中止するとかの話もあったので、秩父は産婦人科が足りないのではと想像していたら、今の状況では、2件の産婦人科ではやっていけないという秩父地域の現状を聞いて、出産、赤ちゃんの数がものすごく減っていて、先生も懸念をしていた。私もこれからの秩父地域のことを改めて、考え直さなければならないことを思った。

友人の高田さんの父で両神出身の高田哲郎先生が、去年の9月、「おもしろい方言地名と名字のあれこれ」という本を出版した。私は花の木小学校出身であるが、前に高田先生に会ったときに、「ハナノキ」というのはどういう意味か知っているかと問われ、「花の木」ではないんですかと答えたら、諸説あるが、「崖の始まり」という意味があるそうである。「はな」というのは端っこの「端」、きは起点の起、スタートする処で「端の処」ということであった。花の木は、その先は近戸で崖なので、「ハナノキ」という名前がついたという話を聞いて、いろんな説があると思うが、そのようなことを知りたいと思い、この本を手にとった。読んだところ、非常に面白く、秩父のお祭りのこと、秩父でできた市のことから始まり、日本中にあるいろいろな名前、例えば藤原とか加藤とか藤の字がついた姓が多いのは何故か、ということが歴史の起こったことに合わせて、楽しく書いてあった。小学生には難しいかもしれないが、中学生には、読むと非常に興味が湧くと思うし、面白い本なので、折りを見て、良い本だと紹介しているので、話をさせていただいた。

- 2 番 委 員 : 12月27日に、第一小学校体育館で交通安全自転車競技会に向けて、他校との合同練習会があり、見学に行った。この練習会を知るきっかけは、第一小学校は上宮地にあり、上宮地町会に子どもたちの頑張りを知って欲しいという案内が来た。当日は長寿クラブのお年寄りや町会の方が見学に来ていた。私も教育委員という立場もあったので、行かせていただいた。当日は、第一小学校の児童が20人以上、過去に全国大会で優勝経験がある本庄東小学校の児童が10人ほど集まっていた。私が行ったときは両校の選手がバラバラになって、トーナメント方式の個人戦が行われていて、午前中でベスト4が決まるという

場面であった。この競技種目は、皆さんご存知かどうかであるが、8の字走行とか、コーンの間を走り抜けるスラロームがあるが、これは凄いなと思ったのが、5, 6メートルの距離をゆっくり自転車を進ませて、20秒間、その距離の中に留まるというもので、本当に止まっている状態をずっとキープさせていた。それを素人の私が見てると、厳しいなということも、その小学生は難なく、こなしていて、かなり練習を積んでるように思った。体育館の壁には、次の埼玉大会だと思うが、カウントダウン日数が出ていて、来年度への意気込みを感じた。ベスト4に入ったのが偶然にも、第一小学校の児童が2人、本庄東小学校の児童が2人であった。午後に準決勝、決勝があるとのことだったが、午前中で私はお暇させていただいたが、かなりレベルの高い大会であった。この様子を見ていて、秩父警察の方が2名、本庄警察の方もいた。秩父市内のボランティアの方と児童が、信頼関係を持って取り組んでるのが印象的であった。地元に対して、学校教育活動を開く、発信するというのは、良いことである。地元の方が学校に行きにくい、行きたくても行けないというときに、私も今回、町会にその話があり、行けたが、できるだけ小さなことでも良いので、外に発信すれば、地元の方も足を運んでくれて、そうすると児童・生徒も程よい緊張感や張り合いがあったりすると思う。私達が体育館から出るときに小学生が「ありがとうございました」と、大きな声で挨拶をしてくれた。このように、ウィンウィンの関係というか、地元、地域と結びつくように、できるだけ多くのことを発信していただけるとありがたいと思う。

3 番 委 員 : 前回12月に申し上げた市の総合教育会議のあり方について、再度、話をしたいと思う。総合教育会議については、教育委員会側だけが動いていて、議題や資料・情報の提供についても、市長側があまり動いていない。市全体の中でいろいろな部署も含めて、教育委員会だけではなくて市民部、福祉部や財務部や他の部署も含めて、秩父の教育の全体を俯瞰できる形で、問題解決に当たっていくという観点から考えると、教育委員会だけが動いている感じが拭えないという話をした。その後、そういう意見があったことを市長側にも、お話をいただいたようである。市長部局の方からも教育の問題を挙げてくださいという形でお願ひに行かれたんだと思う。

その後、私も秩父市の総合教育会議設置要綱をもう一度読み直した。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が平成26年に改正されたことを受けて、こういう形のものができる。その中で第4条に、会議について1号には「市長が招集する」、2号には「教育委員会は、協議する必要があると思料するときは、市長に対して協議すべき具体的事項を示して、総合教育会議の招集を求めることができる」とある。これを読むと招集は市長で協議内容については教育委員会が準備をし、

総合教育会議の招集を求めることができる。年間3回で計画されているが、これを見ると、教育委員会主導ということ、招集は形の上では市長が声掛けをするが、段取りをして、議案を準備するなど教育委員会であると読み取れる。だが、総合教育会議が首長の名のもとに行われるということは、教育の問題だから教育委員会に委ねるということではなくて、市全体の問題として、枠や壁を取り払って、広く教育の問題を市全体の中で考えていくことだと思う。総合教育会議が、教育委員会と市長だけでなく、場合によっては学識経験者、あるいは当事者を呼び、意見を伺い、そして協議をする。自由度があって自主的な話ができる場になっていけば良いと思う。学校や子どもの問題は、親の問題、地域の問題でもあるし、広域的な問題である。だから全体を俯瞰して、短期的に解決できることもあるし、継続的に、いろいろな部署・部門が協力連携をすることにより、実現をしていくことも、多々あると思う。例えば地域移行等については、教育委員会に集まった学校から上がってくる資料・情報と市長部局の方から上がってくる資料・情報、あるいは他の部所から集まってくるものを集めて、そこで協議ができれば、もっと議論が深まるし、良い解決案が見つかるのではないかと思う。

市長と教育長で、そのことに関して話をする機会もあるかと思う。教育長にも頑張ってもらって、フランクに自主的な意見交換ができる場になるように、総合教育会議の中身について、検討いただければありがたいと思う。

4 番 委 員 : 今年の正月は、穏やかで冬季休業も無事に終わり、3学期がスタートした。学校が始まるとすぐに給食も始まり、保護者からはありがたいとの声が聞こえてきている。

各学校とも競書会があり、子どもたちはそれぞれ集中し、真剣に取り組み、書いていたようである。また、校内書きぞめ展もあり、子どもたちの努力の成果を見ることができた。中学校では、授業参観と併せて展示する学校もあり、参観しやすいようになっているところもあるようであった。各学校の代表者の作品展示の児童生徒美術展秩父地区展覧会も、先日あり、保護者と出品された子は保護者と見に行き、見ている間は楽しめ、親に見てもらえて嬉しかった話をしていた。出品されていない子も、また次に向けて自分も頑張れたらいいなという声も聞いた。書きぞめも美術展の作品も学校の授業の中でやっていただいているので、指導していただいた先生方に感謝したいと思う。

中学校では各校、地区内の3校の高校見学が始まっていて、1年生ではなく、2年生でもいいのではないかという声も保護者から聞いた。まだインフルエンザやコロナで学級閉鎖、学年閉鎖も出ているようなので、体調管理に気をつけて過ごして欲しいと思う。

(2)事務局からの報告事項

事務局 長 : 令和6年度定期監査ヒアリングについて報告する。秩父市では地方自治法の規定に基づき、各事業が法令に準拠して適正に執行されているか、公正かつ効率的に行われているかなどについて、例年2名の監査委員により、定期監査を実施している。令和6年度定期監査について、教育委員会事務局に対するヒアリングが、12月26日に行われた。ヒアリングにおいては、あらかじめ提出した資料に基づき、各課所ごとに概要を説明し、その後、監査委員からの質問を受ける形で進められる。主な質問内容としては、予算の執行状況について、事務事業や工事の契約状況について、各事業の進捗状況や今後の方向性について等の質問があり、各課所長から丁寧に説明をさせていただいた。ヒアリングの結果、書類記載上の細かい指摘が何点かあったが、不適正な事案や問題となる重大な指摘事項等はなく、無事終了した。

学校指導 監 : 2点報告する。

1点目、3学期の始業式についてである。1月8日(水)、市内全小・中学校、幼稚園において3学期がスタートした。各学校、園とも、冬季休業中大きな事故や問題等もなく3学期を迎えることができた。年末にインフルエンザがかなり増えて、心配されたが、式を通常通り参集型で実施した学校が17校、念のため感染対策として式を教室で、リモートで行った学校が小学校2校、中学校2校、計4校あった。

2点目、今年度の卒業式と次年度の入学式についてである。本年度の市内小・中学校の卒業式と令和7年度の入学式については、引き続き来賓をお招きして、実施したいと考えている。教育委員の皆様にもご臨席いただくよう、お願いをする。なお、久那幼稚園は、卒園式後、閉園式を行うので、ご承知おきいただきたい。

保健給食課 長 : 3点報告する。

1点目、給食についてである。毎年1月24日から30日は、「全国学校給食週間」である。学校給食は明治22年、山形県鶴岡町(現、鶴岡市)で、弁当を持ってこられない貧しい家庭の子どもたちのために、始められたのが、最初だということである。当時の献立は、「大きいおにぎり、塩鮭と菜の漬物」であったそうであるが、昭和に入り戦争が始まり、食べ物もなくなり、給食は中止となった。しかし戦争が終わると、栄養の足りない子どもたちを助けるためにと、世界中から脱脂粉乳などが届けられ、給食が再開できたということである。これが昭和21年12月24日のことであり、この日は冬休みと重なることが多いため、1ヶ月後の1月24日を「給食記念日」としたそうである。秩父市でもこの1週間、各調理場で、「日本の味めぐり」や「食文化」などをテーマとして、地域の特産物や郷土料理の提供に取り組んだ。また、各学校では、栄養士、調理員や配膳員に対して日頃の感謝の気持ちを伝えるセ

レモニーなどを行っていただいた。

2点目、12月の感染症発生報告である。11月の比較であるが、新型コロナウイルス感染症は、小学生は12人(前月比9人増)。中学生は20人(前月比17人増)。合計で32人(前月比26人増)である。次に、インフルエンザは、小学生が107人(前月比96人増)。中学生は31人(前月比31人増)。合計138人(前月比127人増)である。マイコプラズマ肺炎は、小学生が43人(前月比21人減)、中学生15人(3人減)。合計58人(前月比24人減)であった。

3点目、1月の学級閉鎖についてである。13学級で、そのうち単学級のため学年閉鎖となったのが5学級であった。荒川西小学校が6年生、荒川中学校が2年生、尾田蒔小学校3年生と6年生、尾田蒔中学校2年生で、5学級となっている。期間についてはそれぞれ2日および3日間程度の学級閉鎖を行って、全てインフルエンザである。荒川と尾田蒔では学年閉鎖となっていて、それ以外の学級閉鎖については原谷小と西小のみとなっているので、たまたまかもしれないが地理的などころもあるのかと感じている。

教育総務課長 : 1点、大田中学校校舎大規模改造工事について報告する。

この工事については、本来、令和6年度に実施予定であったが、2度にわたる入札でも工事請負業者が決定せず、残念ながら今年度中の工事を断念した。そこで、令和7年度の工事の実施に向けて、昨年の12月議会において債務負担行為補正を設定し、1月14日に開札を行った結果、無事仮契約の相手先が決定した。仮契約については1月23日に締結したが、本契約については工事請負額が1億5,000万円を超える工事になるため、3月議会の議決を経て今年度中に締結予定である。議会での議決前のため契約先等の詳細は申し上げられないが、工事に向けた準備期間を確保した上で、来年度の夏休み期間中に集中的に工事を実施したいと考えている。

学校教育課長 : 2点報告する。

1点目、修学旅行の補助金についてである。来年度から、物価高騰等の影響を受け、高額化している小・中学校の修学旅行に対し、市が小学校児童1人当たり1万円、中学校生徒1人当たり2万円の助成を行う予定である。今後3月市議会定例会で、新年度予算の承認が得られれば正式に決定となる。なお、詳細については要綱を作成し、決定する。

2点目、ランドセルの購入補助金についてである。近年、様々なメーカーで多様化するランドセルの販売が目立つようになり、そうした状況を踏まえて、令和8年度入学児童からランリュック・ランバック等の商品も含めて、補助対象を拡大し、補助金を交付する予定である。保護者へは、本日発送を行う補助金交付の通知の中で、補助対象の拡大について周知を行っていく予定である。通知も本日発送する。

文化財保護課長 : 2月9日に開催する「秩父市民俗芸能大会」及び『「秩父市子ども伝統芸能伝道師」称号授与式』について、10月の定例会で報告したが、内容が確定したので、改めて報告する。当日の開演は9時30分で秩父宮記念市民会館の大ホールを会場に行う。午前の部は9時35分から11時35分までを予定している。今回は「獅子舞」を中心として「総合的な学習の時間」やクラブ活動を通じて継承に取り組んでいる小・中学校や地域の児童・生徒が参加して後継者養成に取り組んでいる保存団体に出演いただく。出演順に、花の木小学校伝統クラブの「秩父屋台囃子」に始まり、久那小学校の「久那の獅子舞」、影森中学校の「浦山の獅子舞」、黒谷獅子舞保存会の「黒谷の獅子舞」、日向獅子舞保存会の「日向の獅子舞」が披露される。続いて11時45分から「秩父市子ども伝統芸能伝道師」の称号授与式を開催する。本年度は、小学生9人、中学生21人の計30人に称号を授与する。当日はその中から代表者14人に出席いただき、証書を授与する。

13時から行われる午後の部は、花の木小学校歌舞伎クラブによる「青砥稿花紅彩画 稲瀬川勢揃之場」と秩父歌舞伎正和会による「吉例曾我对面 工藤館之場」が披露される。すべての終了は14時55分を予定している。

なお、先日、委員の皆様には案内文書を郵送させていただいた。ご多用中とは思いますが、ご臨席を賜り、児童生徒の雄姿をご覧いただきたい。

教育研究所長 : 2点報告する。

1点目、令和6年度地域教育力活用モデル事業「英検ナイトスクール夜勉」の実施報告についてである。2年目を迎えた本事業については、10月15日・22日、11月12日・19日、12月10日・17日の6回講義を実施した。小学5・6年生および中学生を対象に、5級44名、4級32名の合計76名、6回で延べ405名が受講した。本事業終了後、アンケートによる参加者の満足度としては、「わかりやすかった」97.0%、「英語学習への目標を持つことができた」83.5%、「自分の英語の力を伸ばすことができた」89.5%という結果であった。具体的な受講者の感想は、「まだ課題はあるけれど、少しずつわかることが増えていくことが楽しくてモチベーションにもつながった。今回5級を頑張って、次は4級にチャレンジしたい」等の記述があった。また、今回、2名のコーディネーターの方による授業に、秩父高校生徒9名、一般より7名の方々にサポーターとして、児童生徒への学習支援に尽力いただいた。サポーターからは、「学習に頑張る児童生徒の姿に触発され、元気をもらえた。また協力したい」といった前向きな感想をいただき、地域人材の活用にも成果を得ることができた。今後も引き続き、目標を持ち、前向きに取り組むことができるような事業の工夫を図っていく。なお、1月18日に歴史文化伝承館を

会場にした、受講生対象の英検準会場による英語検定では、4級を21名、5級を30名が受検し、2月初めにインターネットにより合否の発表が予定されている。

2点目、1月23日に第5回秩父市立中学校部活動地域移行推進協議会を開催した。前回の定例会で報告した「中間報告」内容の確認と、3月の答申に向けて、休日における中学生受け入れ可能な地域クラブ情報の共有と今後の拡充の見通しや、地域クラブの活動に係る教育委員会や学校のかかわり方等について協議した。今後、協議会委員と答申案について意見交換し、次回、3月下旬に最後の協議会にて、答申をまとめることとなる。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

6 議案審議

議案第1号「人事に関する内申について」
(非 公 開)

7 協議事項

(1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、8件の協議をお願いします。

3 番 委 員 : 「秩父でつながる光と絆～私たちがこどもに伝えたいこと～」について、夕方から小学生がビラ配りとなっている。保護者の同意や大人の見守り等、安全対策を取るよう条件付で許可できないか。

教育総務課長 : 子どもたちへの安全対策等条件を付して、許可したいと考える。

教 育 長 : 他に質問がないようなので、「秩父でつながる光と絆～私たちがこどもに伝えたいこと～」について、子どもたちへの安全対策等条件をつけることで、全ての事業について、後援等を承認することでいかがか。
(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、事務局には、今後の処理をお願いします。

(2) 2月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 2月教育委員会定例会について、2月21日(金)午後2時から本庁舎4階第3委員会室において開催することを御提案させていただきます。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、2月教育委員会定例会については、2月21日(金)午後2時から、本庁舎4階第3委員会室にて開催する。

8 その他

事 務 局 : 1点、事務連絡を申し上げる。
この後、南小学校の現場視察があるので、委員の皆様に出席をお願いします。

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会1月定例会を閉会する。